

遮熱シート、どれも同じだと思いませんか？



なぜこのような結果になるのか

遮熱シートは「どの商品を使うか」ではなく、「どのように施工するか」で結果が大きく変わります。



よくある施工の問題点

下地施工が必要



施工に時間がかかり、コストも上がる

空気層が確保できていない



熱が伝わりやすく、遮熱効果が下がる

シートがたるみやすい



たるみにより性能が落ち、見た目も悪くなる

現場の本音



工場を止めたくない



設備や荷物を動かさない



短期間で施工を終えたい

性能だけでなく、
施工方法が
非常に重要です！

その問題、解決できます。



ワイヤー工法の特長

下地施工が不要



施工期間が短い



仕上がり
均一で美しい



工場を稼働したまま
施工可能



従来施工との違い

	従来施工	ワイヤー工法
施工方法	下地施工あり	下地施工不要
工期	長期間	短期間
仕上がり	たるみが発生しやすい	均一で美しい
工場稼働	停止が必要な場合あり	稼働しながら施工可能

なぜこの工法を選んだのか

「現場を止めずに施工できる方法はないか」その課題に向き合い、検証を重ねた結果、現在のワイヤー工法に至りました。



パートナー企業様へ

この工法は「売りやすい商品」ではなく、「選ばれやすい商品」です。現場の課題を正しく理解し、適切にご提案いただくことで、確実に評価につながります。



営業のポイント

- ✓ まずは概算見積からOK
 - ✓ 正確な図面がなくても対応可能
 - ✓ まず1件動かすことが重要
- ↓
実際の現場を見ていただくことで、理解が一気に進みます！

最後に

遮熱シートは「商品」ではなく「施工方法」で差が出ます。その違いを伝えられることが、大きな強みになります。



一緒に、現場の暑さの悩みを解決していきましょう！